

# DXA（骨密度検査）装置を更新しました Dual-energy X-ray Absorptiometry

## DXA（骨密度検査）装置更新について

当院は、DEXA（DXA）法による骨密度測定装置を設置しており、腰痛や骨折の原因となる「骨粗鬆症（こつそしょうしょう）」の診断を行っています。

この度、新しく最新鋭のDXA装置に更新し、患者様には、より安全に、より正確かつ迅速に行うことが可能となりました。

## DXA（骨密度検査）とは

DEXA（DXA）法とは、「Dual Energy X-ray Absorptiometry」の略で、二重エネルギーX線吸収法のことです。検査部位は腰椎、大腿骨、前腕骨などで、特に脊椎の骨密度（骨塩量）測定には欠かせない測定法となっています。



PRODIGY Fuga  
GEヘルスケア・ジャパン(株)

## 特徴

◆低被ばく・短い時間で患者さんにやさしい検査を提供

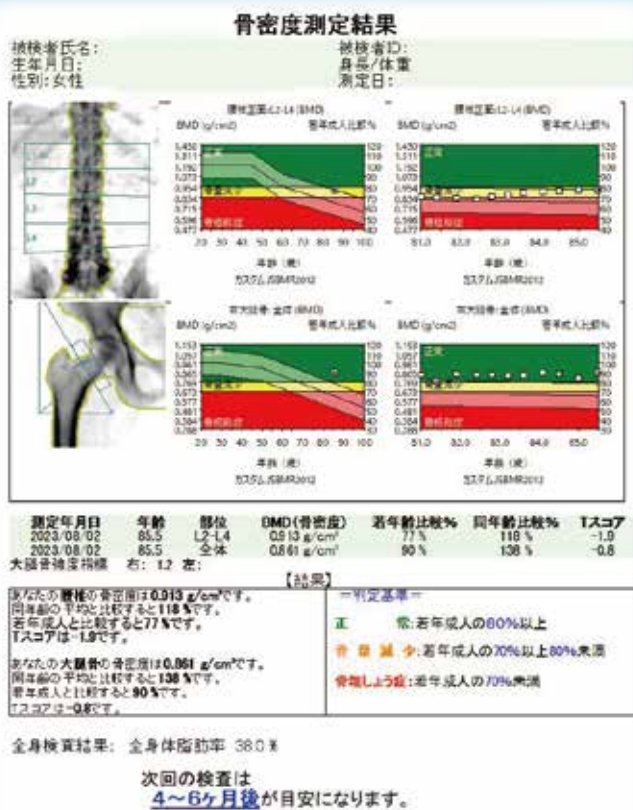
腰椎・大腿骨近位部の測定時の入射線量は37 $\mu$ Gyです。これは通常の胸部一般レントゲンの約1/6程度に相当します。

◆正確な測定が叶える、高画質と高い再現性

スキャンチェック機能により、変形や圧迫からくる測定値の異常や特殊な解析手法を操作者に知らせることにより測定値の信頼性を高めます。

◆快適な検査と解析で、高いスループットを実現

OneScan機能、オート解析によって効率よく検査ができます。



西宮渡辺病院

社会医療法人 渡邊高記念会



西宮渡辺病院

# DXA（骨密度検査）装置を更新しました Dual-energy X-ray Absorptiometry

## DXA（骨密度検査）について

DXA 検査とは、微量な2種類のX線を照射して骨密度を測定する検査で、従来の骨密度検査（超音波法、MD法、CT法）と比べてより精度の高い方法とされています。

### CTIBL(癌治療関連骨減少症) に対して

乳がん、前立腺がんなどのホルモン依存性がんに対しては、乳がんに対するアロマターゼ阻害薬（AI）、前立腺がんに対するアンドロゲン除去治療（ADT）により、がん患者の治療成績の大幅な向上が得られています。一方、これらの治療により骨密度の低下や骨折の増加が起こることが知られています。CTIBL患者が抱える高い骨折リスクに対して、DXAを行うことで、骨粗しょう症の評価を行い、その骨折予防・治療を行うことが可能となります。



PRODIGY Fuga  
GEヘルスケア・ジャパン(株)

## 特徴

◆ **低被ばく・短い時間で患者さんにやさしい検査を提供**

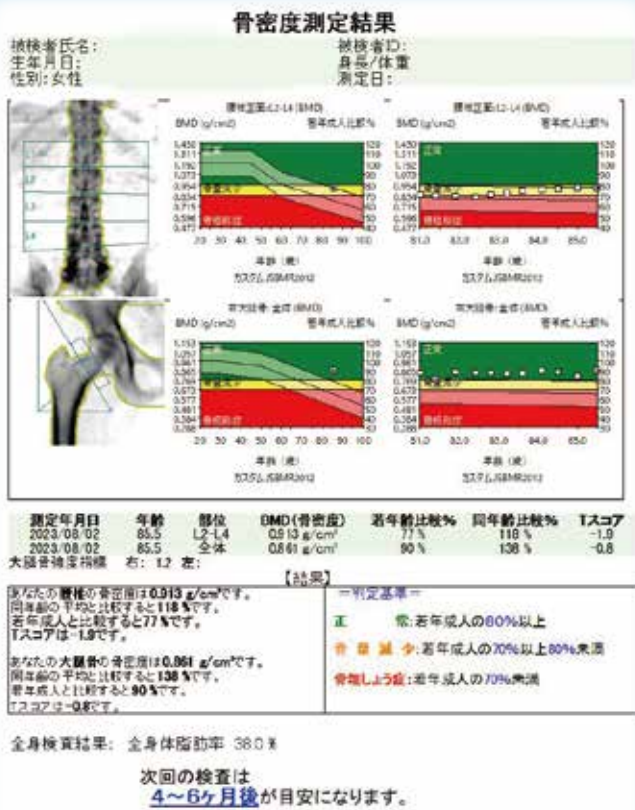
腰椎・大腿骨近位部の測定時の入射線量は  $37 \mu\text{Gy}$  です。これは通常の胸部一般レントゲンの約  $1/6$  程度に相当します。

◆ **正確な測定が叶える、高画質と高い再現性**

スキャンチェック機能により、変形や圧迫からくる測定値の異常や特殊な解析手法を操作者に知らせることにより測定値の信頼性を高めます。

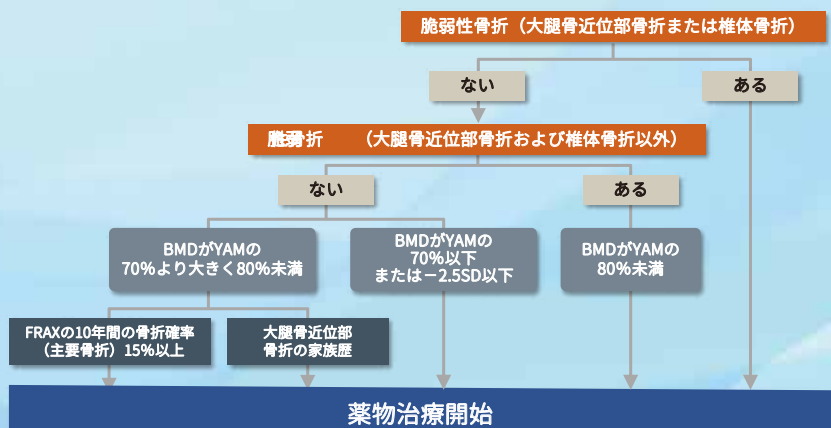
◆ **快適な検査と解析で、高いスループットを実現**

OneScan 機能、オート解析によって効率よく検査ができます。



西宮渡辺病院

### 骨粗鬆症の薬物治療開始基準（骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2015年版）



社会医療法人 渡邊高記念会



西宮渡辺病院